

# 三重郡教育研究所 夏季研修講座



〔特別支援教育〕

＜講演テーマ＞

『教室でできる気になる子への認知行動療法  
～学校や学級での構造化～』

日時

令和7年8月6日(水)13:30～16:00

場所

菰野町町民センター2階研修室

## 講座紹介

集団生活になじめずに不適応行動を起こす児童生徒に困っている方はいませんか。不適応行動ばかりに着目しがちですが、実は「認知の歪み」に端を発している場合が少なくありません。「認知の歪み」に焦点化し、認知行動療法の手法を応用してよりよい行動へと導く方法について学べます。「発達障害」と「行動障害」に対して正しく理解し、認知行動療法を知っていただくことが大切です。認知行動療法は教育的な治療法です。認知行動療法を進めるにあたって、役割を理解し技術を磨ける講座です。



講師

三重大学 教授

松浦 直己 先生

## 松浦 直己 先生 プロフィール

三重大学教育学部企画経営室 室長・副学部長(附属学校園担当)・特別支援教育講座特別支援(医学)分野 教授/三重大学・津市子ども教育センター センター長。博士(学校教育学、医学)。

神戸大学教育学部卒業後、神戸市公立小学校教諭を15年経験。その後、2007年から奈良教育大学教育学部特任准教授、2010年から東京福祉大学教育学部教授を経て現職。

著書に『保護者をモンスター化させない10の対処法 法律と根拠に基づく学校トラブル解決』(中央法規出版)、『教室でできる気になる子への認知行動療法 ―「認知の歪み」から起こる行動を変える13の技法』(中央法規出版)、『教室でできる気になる子への認知行動療法 実践ワーク編』他多数。